

浄覚寺本堂再建事業 令和5年度報告

謹啓 慈光照護のもと、ご健勝にてお念仏ご相続のこと大慶に存じます。
平素は、浄覚寺護寺発展のために格別なるご配慮とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年より本堂再建事業が始まり、皆さまのご懇念によります寄付積み立ても別紙の通り順調に進んでおります。それに並行して、役員内では本堂再建構想についての思索を深めるため、竣工して間もないお寺さまへ見学に伺い、参考になるご意見を聞かせていただきながら、情報収集を行っております。

今年度は昨年5月に岸和田市の正光寺さまへ伺いましたので、一部ではありますが、その際の質問と説明、写真などをご報告させていただくことで、皆さまとも情報共有ができればと思っております。

もちろん同じものをするわけではありませんが、皆さまにおいてもご参考にしていただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

合掌

日時：令和5年5月27日（土）15時

場所：岸和田市 正光寺さま

参加者：正光寺ご住職、吉内会長（当時）、吉内副会長、石田副会長、住職

正光寺さま 鉄骨造平屋建て（納骨堂別棟）

床面積／330 m²

2016年10月竣工

Q 地震や火災との関係で鉄骨と鉄筋コンクリート造りですか？

A 鉄骨造りで、木造での外観仕上げとなっています。鉄筋コンクリート造だと湿気の問題や地震に弱いと聞いています。瓦屋根も従来よりも軽くしており、地震にも強いようになっています。

Q 建設資金はどのようにされましたか。また、何年くらいかかりましたか？

A 本堂の建て替えの話が出てから、完成まで10年ほどかかりました。積み立てをお願いしましたが、それだけでは難しく、特別のご懇志をお願いしました。自己資金も拠出しました。また、途中で建築停止の話も何度かありました。建築完成後も1年積み立てをしていただきました。

Q 建て替え期間中の年行事の実施はどのようにされましたか？

A 建築に2年ほどかかりましたが、書院があったので、そこで法要や総会などを開

催しました。

Q 本堂取り壊しにどれくらいかかりましたか？

A はっきり覚えていませんが、1年もかかることはありませんでした。

Q 本堂再建に2億円ほどかかったと聞いていますが、内陣や外陣そして、外まわりの整備などにかかった比率はどのような感じですか？

A 内陣に半分かかったのではないかと思います。

Q 本堂再建に当たって、どのようなコンセプトで臨まれましたか？

A いくつかのお寺を拝見し、前住職や総代さんが、内陣と外陣の間の柱がないお寺を見られて、どこから見てもご本尊が望めることに注目されました。また、前住職が、明るい本堂であることを重視されました。

Q 本堂再建のイメージを具体化するに当たってどのようにされましたか？

A どのような経緯で選ばれたのかはわかりませんが、名古屋の設計士さんに依頼しました。設計士によって、お寺の感じがずいぶんと違うので検討が必要です。その設計士さんから、複数の建築業者を紹介していただき、見積もり等も取りました。そして業者選定をしました。仏具屋さんなども、設計や建築業の方々との付き合いがあるようなのでたずねてみることも一つかもしれません。

Q 建築委員会はいつごろから立ち上げられましたか？

A 再建をすると決まった時点で、完成の5年前くらいからと思います。それまでは、役員の方々と相談しながら進めました。役員の改選に併せ前会長に委員長になっていただきました。

